

すとう きょうへい  
須藤 恭平さん

鹿島建設  
株式会社



建設業界をめざす  
若者へ!

施工管理の仕事をする、  
毎日、多くの職人さんと話す  
ことになります。「はじめまし  
て」が日常的な世界です。  
学生のうちにアルバイトなど  
を通じて、**年上の人との会  
話に慣れておこう**

ある1日の業務フロー

- 出社、準備
- 8:00 朝礼・危険予知活動  
(現場巡視・チェック)
- 9:00 デスクワーク  
(品質関連書類の作成など)
- 10:30 現場で作業進捗状況を確認
- 11:00 打ち合わせの準備など
- 11:30 職員・職長との作業打ち合わせ
- 12:00 昼休み
- 13:00 昼礼・現場で職人と打ち合わせ
- 13:30 デスクワーク(今後の資材手配、  
協力会社の調整など)
- 16:00 現場整備  
(一日の作業確認・安全確認)
- 17:00 デスクワーク  
退社



群馬県生まれ。高知工科大学  
建築都市デザイン学科を卒業。  
2020年、鹿島建設株式会社へ  
入社。施工管理を担当。趣味  
はキャンプなど。

コンクリートを打設するごとに  
建物が形を成し達成感が味わえる



担当  
工事の  
概要

事業主：神戸市  
工事名称：(仮称)西神中央文化・芸術ホール等整備事業 文化施設新築工事  
(地上4階、RC造一部S造)  
施工場所：神戸市西区美賀多台1-1-1  
工期：2021年1月18日～2022年6月30日  
施工者：鹿島建設株式会社

BIMを用い効率よく  
精度の高い施工を行う

意匠性の高い高難度な工事現場で  
鉄筋とコンクリートを担当する

「**施**工難度のめちゃ高い工事があるから、やってみ  
るか」と社内で行われ、今の現場に赴任した。  
4,000㎡のコンパクトな敷地に、公共図書館・芸術  
ホール等から成るモダンな文化施設を建てる。完全他  
社設計で、鉄筋コンクリート造と鉄骨造を組み合わせた  
複雑な構造。その現場で、鉄筋とコンクリートの両  
方を、先輩と共に担当している。落ち着いた受け応え  
は、2年目に見えない。

子どもの頃から大工に憧れ、玩具より工具を欲し  
がった。大学では意匠系の設計を学んだが、古民家



現場でBIM画面を開き指示。

再生サークルを立ち上げ、部員50数人の作業を振り分  
けるうち、施工管理を志望するようになった。入社後、  
鉄骨造のオフィスビルの現場で竣工を経験した。

取材時は、芸術ホール両サイドの壁面工事、図書館  
の内装工事の3つの工事が進行。資材の搬入・搬出ゲ  
ートは1カ所なので、交通整理に苦労があると言う。ときには、  
苛立つ職人に叱られながらも「よいものを造りたいとい  
う思いがあるから熱くなるんだ」と理解する。年配の職人  
から「俺の息子より年下やで」と言われ、「かわいがって  
ください」と笑顔で答えたこともあった。

コンクリートを打つ日は毎回、緊張する。「これまで多  
くの業種の職人さんが躯体を造るため作業してきたのに、  
自分の段取りの悪さで、もしやり直しになったら……」と。  
しかし、コンクリート打設のたび、建物として形を成してい  
くのが、何よりのやりがいとなっている。

この現場等で習得したBIM(PC上に建物の立体モデ  
ルが構築できる)を駆使し、将来は海外の建築工事を手  
掛けたいと考えている。上司は「目的意識を持ち、よく仕  
事をしている。これから長丁場になるので、しっかり健康  
管理を」とアドバイス。今後、仕上げ工事に入り現場に  
入る業種が増え、やがて日々200人の職人を迎える。

多くの人々のチカラを結集して、  
唯一無二のものを造るのが醍醐味



担当  
工事の  
概要

発注者：西日本高速道路株式会社 関西支社  
工事名称：①新名神高速道路 美濃山西工事 ②新名神高速道路 美濃山西工事(その2)  
(発進・到達立坑躯体工、鋼管擁壁工、捨土掘削工他)  
施工場所：自)京都府八幡市美濃山(～至)大阪府枚方市長尾家貝町  
工期：2017年4月7日～2023年4月21日  
施工者：株式会社大林組

所長・主任の  
もとで日々成長。

疑問を追及し、改善につなげたい  
常にそう考え自主的に行動する

「**実**は「ゼネコンへの就職は考えていない」と就職活  
動中に宣言していた。キツイ仕事というイメージ  
を持っていたが、現場見学会に参加し、土木現場の  
カッコよさに打ちのめされた。壮大な構造物が目前で  
どんどん姿を変え完成していく。「自分で造ってみたい」  
と、志望を高速道路会社から建設会社にシフトした。

入社後、名古屋にあるリニア新幹線の工事現場に  
配属された。トンネル用の巨大な立坑(掘削機を設置  
するための垂直の穴)工事を経験し、1年半後にこの新  
名神高速道路の現場へ。枚方トンネル(仮称)の発進・  
到達両方の基地となる立坑開削工事だ。同じ立坑だ  
が、前回とは工事内容も地域性も異なり「違う会社  
に入ったよう」な新鮮な感覚だった。

大阪の職人は話上手で人懐っこい。そんな彼らを着  
任直後の朝礼で驚かせた。「おはようございます」の  
声が大きく、どよめきが起こったほど。新入社員のころ、  
声小さいと指摘されたことがあり、「技術や知識のい  
らない簡単なことだから」と自ら改善した。

立坑全般を2人で担当する。最近足場の計画を任  
され、関連協力会社に話を聞いて、みんなが働きやすい  
方法を模索した。電子黒板や自動仕分け可能な写真  
管理ソフトの導入時には、率先して会社の担当部署に  
提言し採用、効率アップに貢献した。経験豊富な先輩  
や職人の胸を借り、何でも質問する。「先輩の指示通り  
に行動するだけでなく、その理由を考えてより良い方法  
を見つけようとする。今の姿勢を大事にして頑張してほしい」  
と上司は激励する。

担当の工種が完成すると、あそこで苦勞した、ここで  
議論したという「ストーリー」を思い出す。自分  
たちしか知らない物語を職員・職人で共有  
できるのが喜び。目標は、みんなの力を最大  
限に活かす現場所長  
になることだ。



現場をくまなく巡回し  
指示する。

まつい りさ  
松井 梨佐さん

株式会社  
大林組



建設業界をめざす  
若者へ!

多様な経験を持つ人々が、  
各自の知識と技術を活かし、  
一つのものを作り上げます。  
一人ひとりが**主人公**であり、  
共に**完成の喜びを分かち合  
える**。それが建設業界の大  
きな魅力です。

ある1日の業務フロー

- 出社、準備、  
事務所から現場へ移動
- 7:45 朝礼・危険予知活動
- 8:00 現場巡視・チェック
- 10:00 発注者立会対応  
(調査の項目確認、写真撮影など)
- 11:45 職員・職長との打ち合わせ
- 12:00 昼休み
- 13:00 現場巡視・チェック
- 14:00 発注者立会対応
- 16:00 現場巡視・チェック  
(翌日の作業確認など)
- 17:00 デスクワーク  
(立合調書・進捗図の作成など)
- 退社



千葉県生まれ。中央大学 理工  
学部 都市環境学科を卒業。  
2019年、株式会社大林組へ入  
社。施工管理を担当。趣味はゴ  
ルフなど。